

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者の意見、要望は随時間いて要望に沿うように調整を図りながら対応している。家族については、面会や電話時に意識して聞くようにしているが、家族同士の話し合いはできていない。	事業所だよりの一角に相談窓口を分かりやすく明示したり、家族同士の話し合いを少人数の参加でも始めてみる等、運営推進会議も利用して家族の意見や希望をより多く聞く機会を設ける取り組みを期待したい。	評価後のお便りに、苦情相談窓口など連絡先等記載し、今後も記載する。また、家族会なども評価後のイベント時に説明し・開催した。その他のご家族には書面や面会時などに、了承を得ている。次回もイベント時に家族会などが出来れば、家族も集まりやすいのでは？という意見も出ており、行いたい。まずは家族の方にご理解・協力の周知を行う。	3ヶ月
2	35	地域の津波避難訓練に参加し、避難経路に沿って車で山に上がる訓練を行っている。事業所独自の避難訓練は、火災を想定し消防署の協力を得て行っているが、地域住民の協力は得られていない。非常食等は3日分を目安に備蓄している。	今年度地域の津波避難訓練に参加し、避難経路や避難先等が確定された機会を活かし、運営推進会議を通して事業所独自の防災訓練に地域住民の協力を呼びかけ、地域との協力体制築くことを期待したい。	火災避難訓練は年に2回行っており、評価後にも予定していた。その際に、区長場の方に協力して頂き、避難場所とさせていただいた。今後も、近所の包括支援センター・住人の方などに協力していただけるような計画を立てるようにする。9月にも市の避難訓練があり、その際にも、参加し、また協力もお願いしたい。	6ヶ月
3	26	利用者、家族、医療関係者等からの情報や意見を職員会で検討し、予測される問題や気になる事象の原因等を把握し、個々の利用者に応じた介護計画を作成している。計画の見直しは3ヶ月毎であるが、変化があればその都度行っている。ただし、これまでの生活習慣や総合的な援助方針等の記録が乏しい。	個々の利用者の生活習慣や生活への思い等の情報を整理し、具体的にイメージができる総合的な援助方針を記録するなど、次のステップに向けた取り組みを期待したい。	介護計画書などの様式の変更も考え、利用者個人の生活習慣や情報の整理をし、具体的に援助方針が記録できるよう作成したい。	4ヶ月
4	4	会議は2カ月毎に開催し、利用者の状況や運営内容、評価結果等について報告し、参加委員からは例えば介護職のメニューや家具の転倒防止対策等の提案があり、運営に反映している。会議録は分かりやすく記載し、委員や家族に配布している。	評価に基づく目標達成計画の取り組みや結果についても報告して評価を行い、評価→目標立案→実行→評価をひとつのサイクルとして次年度につなげるよう、運営推進会議を活用して取り組むことを期待したい。	運営推進会議の中での指摘や提案などについては、業務に取り組み・実行し、実行したら良しではなく、その事を改めて評価して今後につなげていけるよう取り組む。	6ヶ月